

やればできる



伊万里市立啓成中学校 学校だより NO.8
令和5年11月6日発行 文責 笹山 清彦

校 是：「啓成中学校は、みんなで創る みんなで伸びる みんなで喜ぶ」
学校教育目標：「夢や希望を持ち、自らの未来を切り拓く啓成っ子の育成」

素晴らしいハーモニーを響かせました。

10月15日(日)に、「繋ぐ～啓中の伝統を声にのせて～」のテーマのもと、令和5年度啓成中学校文化発表会を開催しました。この数年コロナにより、全校生徒が一堂に集まって文化発表会を開催することができませんでしたが、今年度ようやく開催することができ、たいへん嬉しく思います。

約2週間と限られた期間の中で、集中して準備や練習に取り組み、各学年、学習した成果をまとめた展示や発表、そして、合唱を披露してくれました。

特に合唱については、合唱コンクールということで、どうしても順位が付きませんが、それが全てではなく、大切なのはクラスの仲間と心をつなげて気持ちよく歌えたかであり、どのクラスもそれができていたと思いました。さすが、啓成っ子。やればできます。

また、保護者の皆様におかれましては、早朝よりご参観いただき、誠にありがとうございました。今後とも本校教育に対するご支援・ご協力をお願い申し上げます。

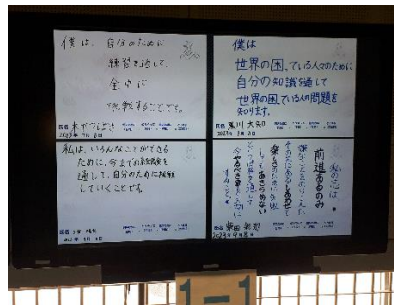
テカピカ運動をがんばりました。

10月23日(月)に、啓成中学校全校生徒、伊万里小学校6年生、牧島小学校5・6年生の379名の児童生徒で、テカピカ運動を行いました。

この運動は、「地域の清掃活動に取り組むことにより、郷土を愛する心を育み、地域に根ざした児童生徒の育成を図ること」「生徒会等を中心に、生徒主体で活動することにより、自主的に考え、行動する力を身に付けさせること」等を目的としており、長年、啓成中学校区で取り組んできた運動です。

当日は、小学生と中学生がいっしょになって、よく協力しながら清掃活動に取り組んでいました。その際、地域の皆様方のご厚意により、水道を借用させていただきましたことに深く感謝申し上げます。

なお、テカピカ運動の様子については、サガテレビ、NHK、アイテレビ等で放映されました。



性について学びました。(2年生)

10月24日(火)に、学校医の日高重和先生を講師にお招きして、2年生対象の性教育講演会を行いました。「生命の大切さ」をテーマに、「思春期の体の変化」「性に関する不安や悩み」「妊娠のしくみ」「性感染症」等について、分かりやすくお話をいただきました。

講演後の生徒の感想では、「今後の自分は、性とどんな風にして向き合っていけばよいか、考えさせられる講演だった。」「正しい情報を知ること、してはいけないことやどんな行動をとらなければいけないかということが分かった。一人一人が責任や思いやりをもって行動することが大切だと思った。」など、他人事ではなく自分事として真剣にとらえることができていたようです。是非とも、ご家庭でも機会を見つけて、お子様と話をしていただければ幸いです。

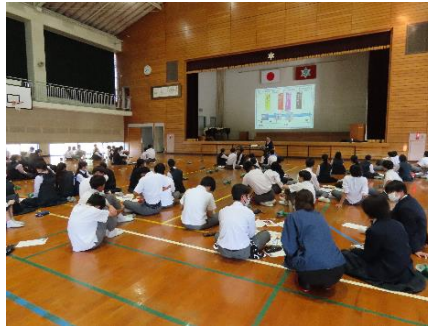


防災教育(2年生)を行いました。

10月31日(火)に、佐賀地方気象台より、平松和馬先生(他5名のスタッフ)を講師にお招きして、2年生対象の防災教育を行いました。

「大雨災害から身を守るためにどうすれば良いのか」をテーマに、大雨についての実態や避難の仕方、災害について

の講話の後、グループ毎に活動を行いました。各グループに様々な状況を想定したシナリオが用意されており、それに適した避難経路を想像し、理由を考え、発表する等の活動を行いました。どのグループも協力しながら熱心に話し合い活動ができており、防災に関する知識を深めるとともに、意識を高めることができました。



薬物の恐ろしさを学びました。(3年生)

10月31日(火)に、学校薬剤師の岡本奈々子先生を講師にお招きして、3年生対象の薬物乱用防止教室を行いました。「薬物が身体に及ぼす害について」をテーマに、「薬物乱用とはどういうことか」「法律で禁止されている薬物(覚せい剤、大麻、MDMA、指定薬物(危険ドラッグ)等)にはどのようなものがあるのか」「薬には決められた用法(使い方)や用量(使う量)があるということ」等について、詳しくお話をいただきました。

以下は、その要約です。

- 薬物乱用とは、「薬を病気やけがを治すこと以外に使用したり、決められた用法(使い方)や用量(使う量)を守らずに使用すること。また、法律で禁止された薬物を使うこと。」等を言う。
- 薬が効かないからといって、決められた用量以上に飲むことや法律で禁止されている薬物を、例え1回でも使ったら薬物乱用になるということ。
- 薬は人によって効き方が違うので、友人からもらって飲むのは危険であり、絶対にしないということ。
- 薬物は、大切な脳を壊し、一度壊れた脳は元に戻ることはないということ。
- 薬物の購入ルートは、インターネットでの購入が増加しており、危険なサイトには絶対に入らないこと。
- 薬物に関する正しい知識をもち、絶対に薬物に手を出さないこと。

